

## ● 病院概要

● 開設者名 有賀 徹 ● 病院長名 入江 誠治

### ● 標榜診療科目

内科、精神科、消化器内科(休診中)、小児科(休診中)、外科、整形外科、脳神経外科、呼吸器外科(休診中)、心血管外科、皮膚科、泌尿器科、産婦人科(産科は休診中)、眼科、耳鼻咽喉科、リハビリテーション科、放射線科、麻酔科、歯科口腔外科、病理診断科

### ● 使用許可病床数

	使用許可病床数	一日平均入院患者数
一般	360床	162.9人

● 一日平均外来患者数 474.2人 ● 医師数 常勤 23人 非常勤 0.4人

● 年間手術件数 2,262件

● 救急告示病院の指定 有

### ● 学会指定施設の状況

日本整形外科学会専門医制度研修施設、日本手外科学会専門医制度基幹研修施設、日本脳神経外科学会専門医認定制度指定訓練場所、日本脳卒中学会研修教育病院、日本泌尿器科学会専門医教育施設、日本病理学会専門医制度研修登録施設、日本静脈経腸栄養学会NST稼働施設、日本歯科口腔外科学会専門医関連研修施設、日本障害者歯科学会臨床研修施設、日本歯科麻酔科学会認定医研修機関



## ● Access



照会先  
 総務課長 松平 淳  
 TEL 025-543-3123 FAX 025-544-5210  
 E-mail [soumukatyou@niirou.jp](mailto:soumukatyou@niirou.jp)

病院見学の受入 随時  
 申込方法 事前の問い合わせが必要

- 上越新幹線後湯沢駅下車、ほくほく線乗り換え、直江津駅南口下車→徒歩5分
- 北陸新幹線上越妙高駅下車、妙高はなうまライン乗り換え、直江津駅南口下車→徒歩5分

## 研修概要 研修プログラムの目的と特徴 (平成31年度研修医)

### ● 目的

臨床研修の目的は、医師が医師としての人格をかん養し、将来専門とする分野にかかわらず、医学及び医療の果たすべき社会的役割を認識しつつ一般的な診療において頻繁に関わる負傷又は疾病に適切に対応できるよう、基本的な診療能力を身に付けることに置かれている。

### ● 特徴

当院の臨床研修プログラムは、上記の研修目的を達成することを主眼としながら、次の3つの特徴を有している。  
 ① 熱心な指導医のもとで、基本的な診療能力を身に付けるために十分な症例を経験できること。  
 ② 2年次の自由選択科目において、上越・糸魚川コンソーシアム(良医育成を目的とした新潟県立中央病院、上越総合病院、糸魚川総合病院、新潟労災病院の連携組織)が提供する自由選択科目の中から選択できること、すなわち上越地域にある4つの基幹型臨床研修病院が提供する各々特色ある研修プログラムの中から選択できること、である。2年次の研修では将来の専攻科目を中心に研修することも、また外科系科目または内科系科目を中心に幅広く研修することも可能であり、研修医の希望に幅広くまたフレキシブルに対応していること。  
 ③ 地域医療を重視したプログラムであること、すなわち上越医療圏における広域基幹病院から中小病院に至る各医療機関が緊密な連携のもとに実践している地域医療を経験できること、である。

### ● 研修パターン

1、2年目に将来専門とする診療科で研修するパターン

	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
一年次	内科(6月)						救急(3月) (内科・整形・脳外)		選択必修(3月) (2科目で3月)			
二年次	地域医療	自由選択: 将来専門とする診療科を中心に関連の診療科で研修(11月) 上越コンソーシアムの提示する選択肢から選択可能										

2、研修開始時から将来専門とする診療科(例えば外科)で研修するパターン

	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
一年次	(例) 外科(3月)			内科(6月)						救急(3月) (内科・整形・脳外)		
二年次	地域医療	(例) 麻酔科(3月)		(例) 外科(8月)								

3、従来の研修プログラムと同様のパターン

	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
一年次	内科(6月)						外科(3月)		救急(3月) (内科・整形・脳外)			
二年次	麻酔科	産婦人科	小児科	精神科	地域医療	自由選択(7月) 上越コンソーシアムの提示する選択肢から選択可能						

- (注)
- \* 1. 一年次の救急(3月)は、救急外来での研修を中心としながら、内科・整形外科・脳神経外科においてそれぞれ1月ずつ行う。
  - \* 2. パターン1の選択必修科目(3月)は、外科、麻酔科、精神科、小児科、産婦人科の中から2科目を選択する。
  - \* 3. 選択必修科目のうち、外科は当院で行うが、精神科は国立病院機構さいがた医療センター又は高田西城病院、小児科・産婦人科・麻酔科は新潟県立中央病院又は厚生連上越総合病院にて行う。
  - \* 4. 地域医療(1月)は、新潟県立柿崎病院又は新潟県立松代病院にて研修を行う。
  - \* 5. 必須科目の内科(6月)及び救急(3月)は、新潟県立中央病院又は上越総合病院で行う。

- 上越コンソーシアムの提示する自由選択科目の選択肢(2年次、原則1ヶ月以上)  
 内科(循環器内科、神経内科を含む)、外科、小児科、小児外科、産婦人科、麻酔科、放射線科、整形外科、心臓血管・呼吸器外科、脳神経外科、皮膚科・形成外科、耳鼻科、泌尿器科、病理診断科  
 新潟県立中央病院、厚生連上越総合病院、新潟労災病院での研修が可能。
- 研修協力病院: 新潟県立中央病院、厚生連上越総合病院、国立病院機構さいがた医療センター、高田西城病院
- 研修協力施設: 上越健康福祉環境事務所(上越保健所)、新潟県立柿崎病院、新潟県立松代病院  
 なお「認定産業医」資格の取得を希望する研修医は、産業医研修会受講が可能。

## 医学生の皆様へ

### 指導医からのメッセージ

新潟労災病院検査科部長 川口 誠

当院が立地している上越市は、新潟県の南西部に位置し人口約20万人で新潟県では第三位の人口を擁する都市です。上越市は、平成27年3月に北陸新幹線が開業し、東京までは最速1時間46分、金沢までは最速1時間と抜群にアクセスがよくなりました。その上、上越市は山あり海あり美酒あり美肴あり、少し足を延ばせば数多くの観光スポットにも行け、4月には日本三大夜桜に選ばれている高田城百万人観桜会、8月には戦国時代の名称上杉謙信公の遺徳を偲んで開催される謙信公祭、10月には上越市と妙高市にある酒蔵で造られる日本酒が試飲できる越後・謙信SAKE祭等、四季を通して楽しいイベントが開催されています。

当院は、19診療科、360床を有し上越医療圏で急性期医療担当の一般病院として、労災病院の使命である勤労者医療と地域医療ともに貢献しています。

当院の臨床研修プログラムは、研修目的を達成することを主眼としながら、次の三つの特徴を有しています。① 熱心な指導医のもとで、必要にして十分な症例を経験できます。② 2年次の自由選択科目については、上越コンソーシアム(良医育成を目的とした、新潟県立中央病院、厚生連上越総合病院、新潟労災病院の連携組織)が提供する自由選択科目の中から選択できること、すなわち上越市にある三つの基幹型臨床研修病院のそれぞれの特色ある研修プログラムの中から選択できます。2年次の研修では、将来の専攻科目を中心に研修し、また、外科系科目又は内科系科目を中心に幅広く研修することも可能であり、研修医の希望に幅広く又はフレキシブルに対応しています。③ 地域医療を重視したプログラムです。

是非、当院の2年間の研修で医師としての心構え及び診療の基本を多く学んでいただき、自分がどのような医師を目指すのか、生涯の方向性を決めていただければと思います。私たちも全力でサポートします。

### 先輩研修医から一言

整形外科では執刀医の補助を担当し、多くの手術に立ち会わせていただきました。大きいものから小さいものまで1日4件くらいでしょうか。現場の雰囲気はいいです。先生を始め看護師さんなどのスタッフも私をバックアップしてくださり、できることは任せていただけたのでとてもいい経験になりました。脳神経外科では主にくも膜下出血や脳梗塞など急性期の患者さんの初期対応や、全身管理の方法を学んでいます。年齢の近い若い指導医についていただけるのはありがたいです。質問しやすいですし、相談にも親身に応えてくださいます。充実した設備や診断体制も魅力です。128列マルチスライスCTやMRI3.0テスラなどの最新設備を完備。MRIは技師全員が操作でき24時間体制で検査が行えます。脳梗塞の診断に欠かせないものなのでとても助かっています。



- 協力病院 新潟県立中央病院、厚生連上越総合病院、国立病院機構さいがた医療センター、高田西城病院
- 協力施設 新潟県上越地域振興局 健康福祉環境部(上越保健所)、新潟県立柿崎病院、新潟県立松代病院
- 研修医の待遇(平成31年度研修医)
 

1年次月額	基本給 : 500,000円
	当直手当 : 8,873円/回
	月額平均計 : 526,619円
	賞与 : 126,000円
2年次月額	基本給 : 520,000円
	当直手当 : 14,013円/回
	月額平均計 : 562,039円
	賞与 : 168,000円
- 勤務体制 勤務時間 日直 : 8:15~17:00  
 当直 : 17:00~ 8:15
- 研修医当直 回数(月平均) 3~4回/月  
 当直時の勤務体制(研修医以外の当直医数) 1人  
 (当直研修医数) 1人  
 1年次は、常勤当直医の副直として当直医を補佐する。  
 2年次も副直ではあるが、ファーストタッチは研修医が行う。
- 研修医の学習環境  
 居室 医局に専用の机 有  
 仮眠用ソファ設置  
 図書・文献 図書室は24時間利用可能  
 国内図書 約1,720冊 国外図書 約470冊  
 国内雑誌 約29種類 国外雑誌 12種類  
 Medline等の文献データベース 有  
 教育用コンテンツ 有  
 インターネット環境 各自の机からインターネット接続可能  
 図書室にインターネット接続パソコン 有
- 研修の宿舎の有無など  
 宿舎 有(無償)  
 食事 朝食・昼食・夕食は、売店、職員食堂を利用可能